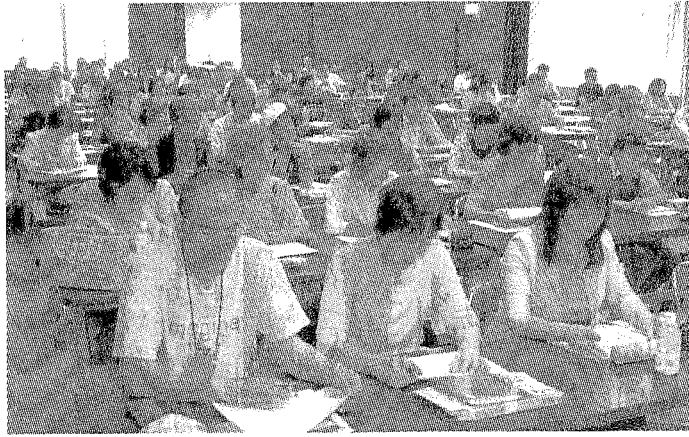


H20.6.15付  
南紀州新南



熱心に講義を受ける受講生たち  
=14日、新宮市福祉センター



林雅彦・明治大学  
法学部教授

## 新宮市

# 外国人向け観光ガイド育成へ

## 明大プロジェクトスタート

熊野地域の観光活性化に貢献できる人材育成を目的にした「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」(明治大学主催)が14日、新宮市福祉センターでスタートした。受講生117人(男44人、女

73人)が来年1月までの計20回(13日間)、さまざまな講師から外国人観光客のもてなし方などを学んでいく。同プログラムは4段階の学習ステージでカリキュラムを構成。簡単な英会話から無理な

く学べるようにしている。最終段階では学習した内容を「英語観光マップ」と「ハンドブック」にして、情報発信に活用するという。受講生は20歳代から80歳代まで幅広く、新宮市を中心に遠方では和歌山市、三重県紀北町などからも参加している。初日は崎章浩・明大経営学部教授のあいさつに続いて、林雅彦・明大法学部教授が「熊野地域の歴史と文化」

(中世まで)」、英会話教室主宰のティム・デットマーさんが「ガイドのための英会話の基本①②」、鈴木将久・明大政治経済学部准教授が「外国文化の習得1(中国)」をそれぞれテーマに講義。林教授は『日本書紀』『中石記』など数々の資料の中から熊野に関する記述を抜粋して説明し、「古代、中世には熊野の存在が大変大きかった」などと話した。